

はじめに



近年、我が国では少子高齢化や少人数世帯の増加などにより、地域住民相互のつながりが希薄化し、これまで地域で担ってきた自助・共助の機能が徐々に失われつつあります。また、地域の担い手不足が深刻化してきており、地域の活力を維持向上できる取組が重要となっています。

福祉行政に対するニーズが多様化・複雑化しており、行政（公助）だけでは課題の解決が困難な状況です。

これらの社会的変化を背景として、国は、あらゆる世代や分野が「丸ごと」つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていく地域共生社会の実現に向けた取組を推進しています。

本市におきましても、地域住民や関係機関が、それぞれの役割や特性を生かしながら、地域のつながりを強め、お互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに向けて、市内8地区がそれぞれ地域活動に取り組むとともに、行政においては、地域支え合い活動を推進するほか、子どもや障害者、高齢者等への支援に取り組んでまいりました。

本計画では、本市の地域共生社会の実現に向けた基本目標として、「人と人がつながり、支え合う、地域づくり」「福祉教育の推進と地域福祉を進める担い手の育成」「包括的な支援の体制づくり」「安全で安心な地域づくり」の4つを掲げ、子ども・障害者・高齢者・生活困窮者等の福祉計画等の施策を総合的かつ包括的に推進することとしております。

これらの取組を身近な地域で展開するためには、市民や地域福祉の担い手の方々をはじめ、地域の関係組織に加え、社会福祉法人・NPOや企業、社会福祉協議会等と行政が連携しながら、協働で取り組むことが大変重要となります。

本計画の基本理念である「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」の実現のために、市民・地域のあらゆる組織の方々と共に、基本目標に定める施策に取り組んでまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、貴重な御意見や御提案をいただきました奄美市地域福祉計画推進委員会の委員の皆様、地域での住民座談会、パブリックコメントに御協力いただきました市民の皆様に心から御礼申し上げます。

令和3年3月

奄美市長 朝山毅

目 次

第1章 計画の策定にあたって	
1 計画策定の背景	2
2 地域福祉の目指すところ	2
3 計画の位置づけ	4
4 計画の期間	5
5 計画の策定体制	5
第2章 奄美市の現状及び課題整理	
1 奄美市の現状	8
2 市民アンケート調査の結果	16
3 地域座談会の結果	24
4 課題のまとめ	32
第3章 計画の基本的な考え方	
1 基本理念	36
2 基本目標	37
3 地域共生社会の実現をめざして	38
4 奄美市における地域福祉と「持続可能な開発目標」(SDGs)	39
5 階層別の地域のあり方(福祉圏域)の整理	40
第4章 基本理念実現に向けた施策の展開	
基本目標1 人と人がつながり、支え合う、地域づくり	43
基本目標2 福祉教育の推進と地域福祉を進める担い手の育成	46
基本目標3 包括的な支援の体制づくり	49
基本目標4 安全で安心な地域づくり	54
第5章 資料編	
1 奄美市地域福祉計画推進委員名簿	60
2 奄美市地域福祉計画推進委員会設置要綱	61
3 用語解説	63